

J A女性組織活性化方策

平成27年2月26日
京都府農業協同組合中央会
J A京都府女性組織協議会

1. 趣 旨

J A女性部は、J A女性組織綱領とJ A女性組織5原則をもち、J Aに結集して活動する組織として多彩な生活文化活動や、食と農を次代に引き継ぐ活動などを展開していますが、部員の高齢化や若い世代の加入が進まないことから部員数が減少しています。

こういった状況を踏まえ、J A京都府女性協では、平成20年2月に策定した「京都府J A女性部組織強化・活性化方策」を継承・発展する形で見直し、新たな「J A女性組織活性化方策」を策定し、各J A女性部における一層の取り組みの強化と、協同活動を通してJ A女性部への結集力を高めることとします。

2. 課 題

平成20年2月の「京都府J A女性部組織強化・活性化方策」策定後、府内各J A女性部では、部員拡大運動や女性のJ A運営参画等を積極的にすすめてきました。その取り組みにより、部員数の減少の抑制や、全J Aで2名以上の女性理事が登用されるなどの成果もでてきていますが、府内全体では、以下の多くの課題を抱えています。

- 部員数の減少
- 50歳代以下の部員の減少
- ニーズの多様化
- 協同意識の低下
- 役員の後継者不足

3. 組織活性化の重点方針

J A女性部の組織の実情や問題点を部員一人ひとりが再認識し、魅力あるJ A女性部として次代につなげるために、次の重点方針を基本に実践に取り組みます。

- (1) J A女性部活動の充実
- (2) 組織の拡充強化
- (3) J A運営への参画

4. 組織活性化の具体策

(1) J A女性部活動の充実

あらゆる世代の部員間の相互交流を図り、支店・支部におけるニーズに沿った活動を行うことで協同意識や連帯感を強め、魅力あるJ A女性部活動の充実をはかります。

- ① 新たなグループ・サークルづくり
 - 女性部員のニーズに沿ったグループ・サークルづくり
 - 『家の光』記事活用グループの育成
 - 世代別グループの新設
 - 世代間やグループ・サークル間の交流促進
- ② 支店・支部活動の活性化
 - 支店長・事務局との連携強化
 - 女性部活動による支店職員との交流
 - 支店活性化委員会（仮称）の設置促進と参画
- ③ フレッシュミズ活動の拡充
 - フレッシュミズ世代の活動支援
 - 世代間の交流による関係強化
 - 食・農・J Aにかかる学習
 - フレッシュミズ世代のグループづくりの促進
- ④ 各種活動の講師（サポーター）の発掘
 - 女性部員講師の発掘
 - 講師登録・活用（J A管内・府域）の促進

(2) 組織の拡充強化

J A女性部員の減少に歯止めをかけ、より多くの仲間とともに地域に根付いた活動を進めるために、女性部組織の拡充強化をはかります。

- ① 女性部員数の拡大
 - J A女性部員新規加入1, 200人の目標達成
 - J A女性部活動に関するパンフレットやチラシの作成
- ② リーダーの育成
 - J A女性組織綱領および5原則の理解深耕
 - J A女性部リーダー研修会の開催
 - 役員の年齢制限の設定

(3) J A運営への参画

J Aを自らの組織として意識し、女性の意思・意見をJ A運動に反映するため

に、組合員加入や女性総代への就任による J A 運営への参画をすすめます。

- 協同組合に関する学習会の開催
- 女性部員の組合員加入
- 女性総代の選出
- J A 役職員との懇談

5. 今後の取り組み

この「J A 女性組織活性化方策」を府内 J A 女性部全体の指針として、これまでの実績、地域の実情などを踏まえて、それぞれの J A 女性部で、「J A 女性部組織強化計画」を J A と一体となって策定し、実践に取り組む必要があります。

計画の策定に当たっては、目標の数値を設定した上で、計画 (Plan) ・実行 (Do) ・評価 (Check) ・改善 (Act) の P D C A サイクルの中で目標達成に向け、J A 女性部全体の運動として取り組みをすすめます。